

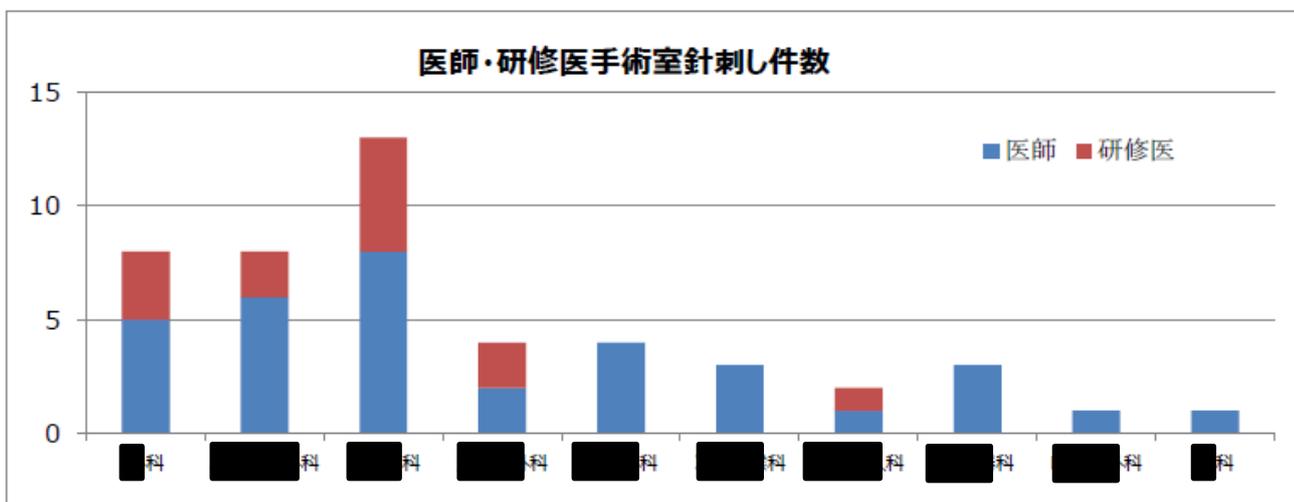
## 針刺し粘膜曝露件数急上昇中

当院での針刺し粘膜曝露件数（以後:針刺し）が上昇傾向です。針刺しと聞くと注射針による誤刺突をイメージしますが、縫合針による刺突や患者による咬傷もここに含まれます。最近の傾向として手術室における縫合針等の手術関連機材による針刺し増加が挙げられ、これは手術関連機材には針刺しを防止するセーフティ機能を有さない事に起因すると考えられます。また手術室での針刺しと聞くと、技術的に拙い若手医師や看護師によるものと連想するかもしれませんが、実際には熟練医師の縫合針による針刺しや、執刀医が周囲のスタッフを誤刺突するケースが報告されています。

## この号の内容

- 1 針刺し粘膜曝露件数急上昇中
- 2 10月15日は世界手洗いの日

【手術室針刺しについて】2016年度～2020年度8月



仮に針刺しをした場合は上司等に報告後に、報告書を感染管理室に提出してください。この報告書提出には①針刺し者の健康被害発生の防止、②針刺しの原因解析の2つの目的があり、特に後者は今後発生しうる針刺しを防止するのが大きな目的です。感染管理室では針刺し者に対し始末書やインシデントレポートを求めていますので、正直な報告をお願いします。

## 10月15日は世界手洗いの日

10月15日はユニセフと世界銀行により世界手洗いの日に定められています。現在 SARS-CoV-2 による COVID-19 の世界的流行によりマスク着用の他に、手指衛生実施についても脚光を浴びています。個人的印象ですが、春先にはアルコール製消毒薬の供給不足より普段聞きなれない次亜塩素水（≠次亜塩素酸ナトリウム）等の代替え消毒薬の特集番組等が多く制作され、流水と石鹼による手洗いはあまりクローズアップされていない印象でした。はたして手洗いは消毒薬を用いた手指衛生と比較し予防効果が劣るのでしょうか？答えは手洗いも十分に予防効果が期待できます。

しかし手洗いの問題点は次の点が挙げられます。

### ①乾燥方法、②手洗いの手技。

手洗いでは石鹼による擦り洗いと流水によるすすぎが重要と思われがちですが、濡れた手の乾燥方法も重要です。爪先等に存在する微生物は、擦り洗いとすすぎでは除去しにくい傾向ですが、乾燥の際にタオル類を使用する事で初めて有意に減少することが報告されています。しかし複数回使用汚れたタオル類による乾燥は、タオル類を介した微生物の伝播の可能性があります。医療施設では単回使用のペーパータオル等を使用していますが、ご家庭では手洗いの都度に清潔なタオル類を用意するのは困難と予測されます。ご家庭では家族とタオルを共有せずに、個人ごとのタオルやハンカチを用意するなどの工夫が必要です。

手洗いの問題点としては、個々の手洗い手技にムラがある点や不適切な手洗い時間等が挙げられるのではないのでしょうか？厚生労働省や CDC では擦り洗いの時間を 15 秒以上行うことを推奨している一方で、手洗いの訓練を積んでいる看護師を対象とした調査報告では擦り洗いの平均実施時間は 7 秒と報告されていることより、普段の 2 倍ほどの擦り洗い時間が必要であるといえます。最近では手洗い時に『ハッピーバースデー』を 2 回歌うと適切な時間になると話題ですが 1 曲約 15 秒程度のため、擦り洗い時に 1 曲分、すすぎ時に 1 曲分時間をかけると適切な時間になると考えられます。